

千年の森便り No.141

2015.4.24

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

4月19日(日) 曇一時雨

参加は新井通子、石毛、伊藤、鶴沢、
刈米、河野、坂本、高橋洋子、田島、中
田夫妻と子供たち、根本、福島、藤川、
真鍋、村野、山口、吉澤の23名。空模
様が怪しいので、午前中に植物や昆虫・
野鳥の観察、森の整備などフィールドワ
ーク、午後、小雨開始後は仮設テントに集まり2015年度の年次総会、総会終了後は雨も上がり、それぞれ林内散策や生きもの観察撮影など自由行動。ツクバネウツギやミツバツツジに彩られた新緑の森で、豊英島の春を楽しみました。(真鍋)

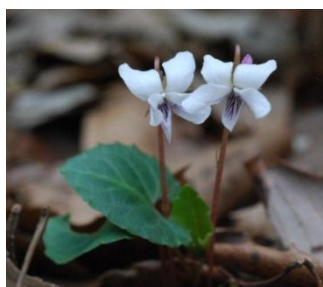


○植物観察

昨年4月に種確認されたユウシュンランが巨木林エリアに多数株開花していました。昨年の自生エリアのほかヒメフタバラン斜面などにも見つかり、豊英島には広範囲に自生していることがわかりました。昨年の花のピークは4月29日でしたが、今年は開花が10日程早いようです。(真鍋)



ユウシュンラン 4/19 福島



フモトスミレ 4/19 福島



フデリンドウ 4/19 真鍋



エビネ 4/19 福島

4月の活動日というと、スミレを観察できるのが大きな楽しみの一つです。今回は、ヒナスミレが見られるかも…と期待して参加しました。まず、ヒナスミレが多い巨木林エリアを探索すると、白くて小さい花のフモトスミレが多数咲いていました。ところが、ヒナスミレは、葉は見つかるものの花がありません。すると、詳しく観察していた新井さんが、種をつけている個体を見つけました。残念ながら、ヒナスミレの花にはちょっと遅かったようです。それでも、無事に種ができていたことが確認できたので、花は来年に期待しましょう。スミレでは、ほかにタチツボスミレが咲いていました。

林床に、濃い青色の花を咲かせてひときわ目立っていたのはフデリンドウです。あちこちに、1個から多いものでは7個くらいの花を咲かせていました。また、エビネもあちこちで花を咲かせていました。根本さんは、香りのあるエビネを見つけたそうです。植物を観察しながらゆっくり歩いていると、林内を桜の花びらがひらひらと舞い、春の森を感じました。

その後、ヒメフタバランの状況を確認するために禁断の岬へ移動しました。細い尾根を下り、斜面を横切って苦労して生育地にたどりつくと、花が終わって種ができかけている株がひとつ見つかりました。こちらも残念ながら花にはちょっと遅かったようです。周辺を探したところ、小さな個体は複数見つかりましたが、花を咲かせたものはこの1個体だけでした。千葉県植物誌によれば、ヒメフタバランは多年草なので、来年はもっと多くの

花が見られるかもしれません。

ヒメフタバランを観察した場所で崖を見上げると、ヒカゲツツジの花がひとつだけ咲いていました。崖に辛うじて残った株は弱っているように見えたが、新芽も出ていたことから復活に期待したいと思います。(福島)



禁断の岬崖下の植物観察



ヒカゲツツジ 4/19 福島

○野鳥記録

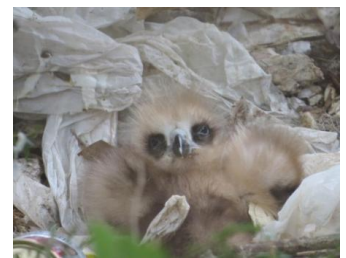
キンクロハジロ5 カワウ 12(ヒナ5含む) トビ 8 (ヒナ3含む) コゲラ声 カケス声 ハシブトガラス声 ヤマガラ囀り+声 シジュウカラ囀り ヒヨドリ声 エナガ声 センダイムシクイ囀り メジロ囀り オオルリ囀り キセキレイ声 以上 14 種 (坂本)

豊英島はベビーブーム

トビの巣には3羽の雛が誕生していました。雨模様の時には親鳥が覆いかぶさって保温と雨除けをしていました。森進一の歌うおふくろさんの歌詞にある通り「雨の降る日は傘に一なりー」です。



雛を護るトビ 4/19 坂本



仲良く戯れる雛3羽 4/19 智貴君

複数のカワウの巣では合わせて5羽の雛が見え、抱卵中の巣もありますからもっと増えると思います。巣箱からシジュウカラが飛び出したとの目撃情報もあり、繁殖に利用されているようですからまさに豊英島はベビーブームです。ホテイ岬の対岸からは夏の渡り鳥、オオルリ、センダイムシクイ囀りも聞こえました。(坂本)



カワウの巣 4/15 坂本

○昆虫観察記

ミヤマセセリ♀

(千葉県重要保護生物B)
春にだけ現れる蝶。地味で目立たないが、去年に続き今年も出会えてうれしい。気温が低かったせいか、地面でじっとしていた。



ホソミオツネントンボ♀
成虫越冬するトンボ。春になり枯葉色から淡いブルーになった。オスはもう少し濃いブルーになる。



アオハムシダマシ(約1cm)

ピカピカと輝く緑色の金属光沢の翅が美しい。山で花に来ているのをよく見かける。低地で葉にくるまっていたのを見るのは初めてだ。



ニワハンミョウ

成虫で越冬したものが出てきたのだろう。2頭一緒にいた。眼が大きく、肉食性なので大顎が発達してかまれると痛い。



(他に観察された昆虫) (河野さんがたくさん発見して下さいました。有難うございました。)

キタキチョウ、モンシロツマキリエダシャク、ヒョウモンエダシャク幼虫(食草アセビ)、シロジマエダシャク幼虫(食草モチノキ)、アカスジシロコケガ幼虫、アオオサムシ、カシワクチブトゾウムシ、カブトムシ幼虫、アカハネムシsp、ベニボタルsp、キボシアシナガバチ、ムネアカオオアリ、セスジハリバエ、ピロードツリアブ、ツチイナゴ、クロヒラタヨコバイ、ヤマトシリアゲ、モリチャバネゴキブリ幼虫 (田島)

ヘビの記録

広場近くのほだ場にジムグリがいました。体長 60cm くらい、色は薄茶色（お腹は黒いまだら模様）で、とてもおとなしいヘビです。2014 年 10 月 26 日以来、2 回目の記録です。（福島）



○森林整備

（ネズ周辺伐採木選木）ネズは森林の成長に伴い少なくなる樹種で、生育には強い日照を必要とされている。豊英島のネズもコナラによって覆い隠され枯死する運命にあり、祠山周辺のネズ5本のうちすでに2本が枯死している。残り3本もコナラに樹冠を覆われ瀕死の状態であるので周辺のコナラ、カシを含め10本程度を伐採木として選木した。

（危険木のチェック）巨木林内・周辺の危険木10数本にマーキングをした。伐採作業は6月度にネズ周辺の伐採作業に引き続き危険木を伐採する。（根本）

○2015 年度総会開催

4 月 19 日、豊英島において 2015 年度総会が開催され、2014 決算、2015 予算、今年度の方針と具体的日程、役員改選などの議題が話されました。（1）予算・決算はほぼ例年どおり。（今年度からの会費値上げは昨年総会で承認）。（2）日程は第3日曜日中心から、会員の要望、他行事との日程調整などを考慮して、他の日曜日や一部土曜日なども入れたものとする。特に夏のきのこ観察会は、ここ数年の状況から7月開催を試みることにし7月20日に実施し、それに伴って夏季の光環境（照度）調査等を8月に移行する。

（3）役員に関しては、副代表の新井さん、監事の森さんが退任し、新たに監事に吉澤さんが就任することなどが承認されました。詳細は、2015 年度活動計画及び月別活動日程表をご覧ください。（事務局）

お知らせ

○2015 年度活動計画及び月別活動日程 4-5 頁に記載の通りです。

○5月の定例活動日 5月10日（日）9：30 県民の森駐車場集合、県民の森自然観察会（内部講師） 希少種保護柵整備、植物調査、野鳥調査、ギャップ林整備、マダケ調査など

○5月10日自然観察会 添付ご案内の通り実施します。

○キノコ観察会 年度活動計画に記載の通り、夏は7月20日（月、海の日）、秋は10月18日（日）です。いずれも吹春講師がご指導くださいます。例年通り一般公開行事です。

2015年度活動計画

会設立以来の活動成果を踏まえ、今後の課題を明確にして、規約第3条の目的達成のため以下の通り活動計画を決定し、実行する。

森林整備	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物多様性保全を基本に、植生保全、ギャップ更新、危険木処理等の位置づけを明確にして除間伐及びブッシュ状低木の除去を行う。 2. マダケ林の整備・調査を継続する。(10年目最終年度)。 	
ヒメコマツ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 房総のヒメコマツ保全に寄与するため、植栽されたヒメコマツを見守るとともに、ヒメコマツグループの調査などに協力する。 	
巨木林調査	<p>下層木調査、成長量調査を継続実施する。</p> <p>(1) 成長量調査 (2) 下層木調査</p>	
ニホンジカなど動物生態調査と食害対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. センサーカメラによる動物生態調査を継続実施する。 2. ニホンジカ頭数調査を継続実施する。(計4回) 3. 植生保護柵の補修又は改修を行う。 	6・9・12・3月
植生調査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 植物調査を継続実施する。調査対象、調査記録方法、標本作成方法など必要に応じて改善する。必要に応じて講師又は協力者を依頼する。 2. ギャップ更新地の調査については、区分表示を有効利用して行う。 3. 希少種保護の基礎資料として、その位置情報の集約・整理に努める。 4. 希少種については、個別に適切な保護を行う。 5. 植生調査(食害調査)を継続実施する。 	
野生キノコ	<ol style="list-style-type: none"> 1. キノコ観察会を実施する。(夏・秋) 2. リスト・標本作製・写真撮影収集に努める。 	7月、10月
野鳥観察	<ol style="list-style-type: none"> 1. 野鳥調査を継続実施する。 2. 営巣等が認められた場合は継続観察をする。 	毎月
昆虫調査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 昆虫調査を実施する。 	適宜
照度調査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 島内各所、巨木林調査区、ヒメコマツ植栽域の調査を継続する。 	年2回
研 修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然観察会(県民の森・島内)を実施する。 2. 必要に応じて適宜ミニ研修を実施する。 	5月 随時
キノコ栽培	<ol style="list-style-type: none"> 1. シイタケ・ヒラタケ等の原木栽培の収量概略を記録する。 2. シイタケホダ場の保護柵設置・補修を適宜行う。 	
広報関係	<ol style="list-style-type: none"> 1. HPを適宜更新し、情報発信に努める。 2. 会報誌『千年の森だより(電子版)』を有効活用する。 3. 「豊英島の自然」を、研究・教育関係機関などに適宜追加配布する。 4. 「続・豊英島の自然(仮称)」の準備に着手する。その前段として写真アルバムの整理に着手する。 	
環境整備	<ol style="list-style-type: none"> 1. 水源地保護のため水辺の清掃を実施する。 2. 物置を点検整備し、不要保管物を整理する。 3. 広場・ベンチ・観察路案内板を整備する。 	

月別活動日程表

月 日	主な活動	摘 要
4月19日(日) 第3	年次総会、自由散策、危険木処理 植物調査、野鳥調査、	
5月10日(日) 第2	県民の森自然観察会(内部講師) 希少種保護柵整備、 植物調査、野鳥調査、ギャップ林整備、マダケ調査	公開行事
6月14日(日) 第2	シカ個体数調査1 環境整備(水辺)、雪害木処理、 植物調査、野鳥調査 ヒメコマツ周辺下刈	
7月20日(祝)	夏のキノコ観察会(吹春講師) 環境整備(観察路、ベンチ) 植物調査、野鳥調査	公開行事
8月30日(日) 第5	光環境調査(夏)、 環境整備(観察路、ベンチ) 植物調査、野鳥調査	
9月23日(祝)	シカ個体数調査2、環境整備(観察路、ベンチ) 植物調査、野鳥調査	
10月18日(日) 第3	秋のキノコ観察会(吹春講師)	公開行事
11月14日(土) 第2	島内自然観察会(内部講師) 植生・食害調査、野鳥調査	
12月6日(日) 第1	シカ個体数調査3 巨木林成長量調査、 野鳥調査	
1月17日(日) 第3	ホダ場保護柵、植生保護柵管理 野鳥調査	
2月13日(土) 第2	光環境調査(冬)、 植物調査、野鳥調査	
3月13日(日) 第2	シカ個体数調査4、ヒメコマツ樹高・径計測 植物調査、野鳥調査	

(備考) 定例活動日の他に必要に応じて、臨時活動日を計画する。

<班編成>

- ・調査班：福島・伊藤（照度調査、シカ個体数調査、食害調査、巨木林調査、マダケ林調査）
- ・植物班：栗山・真鍋・新井（植物調査、種名標示札、写真、位置情報記録、観察会、）
- ・動物-野鳥班：坂本文雄（動物・野鳥観察調査、記録、センサーカメラの管理）
- ・キノコ班：村野・松田（野生キノコの調査、目録・標本作製、写真、観察会）
- ・栽培キノコ班：久我・高橋（栽培キノコの管理、収穫）
- ・環境整備班：苅米・根本・鶴沢・大原（広場・看板・物置・観察路・案内板等整備、水辺清掃）
- ・安全委員長：久我

<事務局>

- ・名簿管理、事業計画、予算決算、ML、渉外その他(事務局長)
- ・会報発行(真鍋)、会計出納(根本)、ホームページ・OneDrive管理(福島)